

しんとし

Vol.51



運動会練習最終日の集合写真です。悪天候のため本年は当日の開催が中止となりましたが、練習を通じて、部署や年次関係なく病院が1つになる行事です。来年度は皆様に優勝のご報告ができるよう【チーム新都市】を合言葉に頑張ります！

猛威をふるった台風19号が過ぎ去り、朝晩が肌寒く感じる秋がようやくやってきました。今回の台風は、川の氾濫により神奈川県北東部にも大きな被害をもたらしています。被災者の方々に謹んでお見舞い申し上げます。そんな暗いニュースの清涼剤となるべき、ラグビーW杯でTeam Japanが快進撃を続けています(10/17現在)。スタンドや街中で赤白ユニフォームを着た多くの方が老若男女関係なく一体となって応援する姿や、スタンド内外で日本人と一緒に様々な国の外国人が、国とか敵味方とか関係なく、みんなでゲームを楽しんでいる光景を見て、私自身が学生時代にラグビーをしていたこともあり、多くの障壁を越え人々を一つにしてくれるスポーツの力を改めて認識し、無性に嬉しくなりました。

日本チームをみんなで応援する、世界中の人達とスポーツを通じて一緒に楽しむ時間をもつ、どちらも素敵なことです。グローバル化(国際化)が加速化する今だからこそ、日本人としてのアイデンティティをもつことが大切であると感じています。それは、我々の日常においても同じだと思います。ネットやSNSによって、交遊関係は容易に広がります。自分の意見や考えを持たず、不確実な情報に流され、周囲の目ばかりを気にしがちな昨今、それが現代人のストレスになっている、とも言われています。人とのつながりが広がることは素晴らしいことです。ただ、お互いが自分の考えや意見をしっかりとってこそ、そこに幹ができて実になる関係が育っていく、「グローバル化とアイデンティティの共存」が大切であることを、私たちは忘れてはならないと思います。

院長 森本将史

インフォメーション

2019年10月5日 青葉公会堂にて

第16回市民公開講座開催

「胸部症状(痛み・ドキドキ)から起こる脳梗塞を予防しよう」

当日は約 **530名** ご参加頂きました！



- ①森本将史院長「心臓が原因の脳梗塞に対する最先端の予防と治療」
- ②津田泰任医師「放っておくと怖い不整脈～心房細動を知ろう！～」

次回も健康に役立つ現役医師による講演を来春ごろを予定しています。是非、ご参加ください。※予約制 / 参加費無料

新都市病院からのご案内

40歳から始めるメタボ検診(特定検診)

メタボリックシンドロームの予防・早期発見は、生活習慣病の予防につながります。つまり！生活習慣病が発症原因となる、脳卒中や心臓病の予防につながります。この機会に検診を利用しませんか？

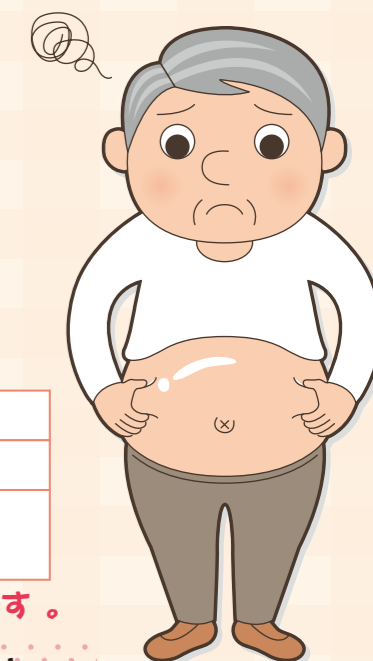
- ◆対象者：40歳以上の横浜市在住の方
- ◆検査内容：身体測定(身長・体重・腹囲・BMI)
採血検査 尿検査

◆費用：	40～74歳	国民健康保険	無料
	40～74歳	社会保険	※
	75歳以上	後期高齢者 医療被保険者	無料

※加入社会保険によって金額が異なります。

詳しくは病院代表電話までお問い合わせください！

045-911-2011



しんとし

令和1年11月号
(通刊51号)

くも膜下出血の最新治療について

～コイル塞栓術編～

脳卒中の中で最も予後が悪いとされる【くも膜下出血】。働き盛りの年代が発症することが多い病気として知られていますが、脳にできた動脈瘤が破裂することによって起こります。今回はこの動脈瘤に対する血管内治療法【コイル塞栓術】について解説します。

動脈瘤の形状

①嚢状(のうじょう)動脈瘤
太い血管が枝分かれしている部分にできる瘤です。
脳動脈瘤が破裂した場合には、**くも膜下出血**となり、命に関わります。



脳動脈瘤 血管内治療実績

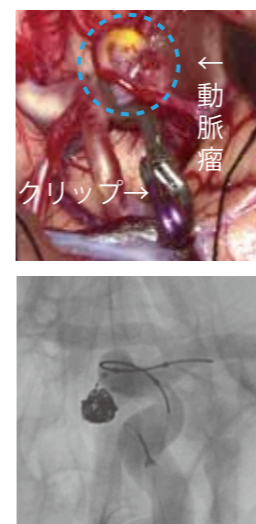
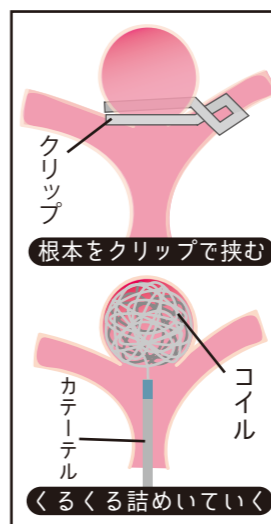
2015	2016	2017	2018
82	97	101	103

【脳動脈瘤治療実績 関東5位】
(2019年10月10日発刊 名医のいる病院 2020より)

瘤が発見されると報告されます。なお、一般的な動脈瘤は左記のような形状です。

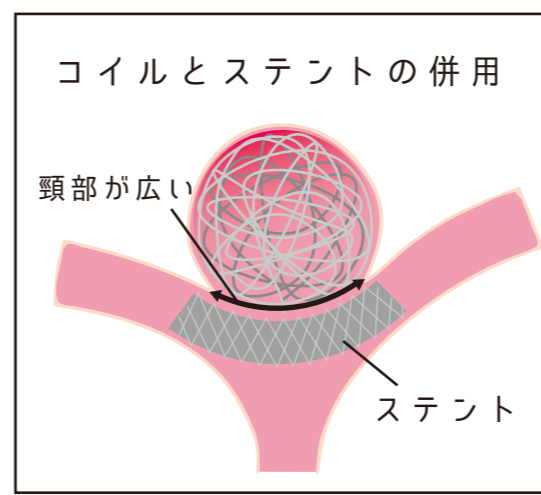
コイル塞栓術について

これまでの脳動脈瘤治療では、メスで頭部を切開したうえで脳動脈瘤の根元を直接クリップするクリッピング術が広く導入されてきました。しかし、動脈瘤のできやすい場所は重要な動脈が多い場所であり、手術のリスクが非常に高い方法といえます。



ステントとの併用

このように、カテーテル治療は、患者様にとって低侵襲の治療と



言えます。しかし、従来のコイル塞栓術はコイルのみでの治療のため、すべての方が受けられる治療ではありません。例えば、脳動脈瘤の頸部が広い場合や脳動脈瘤が大きすぎる場合は、コイルが落ちてしまう可能性があります。そのため、コイル塞栓術による治療の対象外となっていました。そこで、コイル塞栓術で用いられるような形をしたのが、金属の筒のような形をしている「ステント」です。これを併用することで、頸部が広い脳動脈瘤でもステントが支えとなり、コイルが落ちることがなくなります。

また、最大瘤径が10mmを超える巨大脳動脈瘤については、年間破裂率が約4〜33%と非常に高いことが知られています。しかし、コイル塞栓術を行っても脳動脈瘤に流入する血液を十分に遮断することが難しく、根治が難しい、もしくは再治療が必要となることも多くあります。そこで近年、ステントのみで治療を行う「Pipeline Flex フローダイバーターシステム」という新たな治療法が普及し始めています。これは、従来のステントの用途は右ページで説明した通り、コイルが血管内に飛び出すことを防ぐためのものでした。しかし、この治療法では特殊なステントを留置することで、脳動脈瘤に流入する血液量を減少させ、瘤内部の血栓形成を促進させることにより、瘤の破裂を防ぎます。

フローダイバーターシステムを施行した巨大脳動脈瘤

術前 ステント留置 術後

網目の細かいステントを留置することで脳動脈瘤内で血液固まり、破裂を防ぐ。

※当院では24時間365日脳疾患の診察・治療を行える体制を整えています。

療機関は県内では3施設と少ないですが、今後広く普及していくと考えられており、当院では、院長 森本将史がこの治療を行っています。

新たに脳神経外科医2名が【日本脳神経血管内治療学会専門医】を取得!!
資格保有医師が計7名となりました。

脳神経外科 井中 康史

平成21年3月 防衛医科大学卒業
平成21年4月 防衛医科大学病院
平成23年8月 済生会 熊本病院
平成25年8月 防衛医科大学病院
平成28年8月 自衛隊中央病院 三宿病院
平成30年 横浜新都市脳神経外科病院入職

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医

脳神経外科 福田 慎也

平成24年 筑波大学医学類卒業
平成24年 宇治徳洲会病院初期研修
平成26年 横浜新都市脳神経外科病院入職

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医

◆院長 森本将史(専門医、指導医) ◆医長 足田ちよ恵 ◆医長 岩崎充宏 ◆前田昌宏 ◆山崎英一

新入職医師のご紹介



ながさわ じゅんぺい
脳神経内科医 長澤 潤平

平成22年 弘前大学医学部医学科 卒業
平成22年 東京労災病院 初期臨床研修医
平成24年 三宿病院 神経内科
平成27年 東邦大学医療センター大森病院
令和1年 横浜新都市脳神経外科病院 入職

日本内科学会認定内科医、日本神経学会神経内科専門医、日本脳卒中学会専門医